


鹿身協 福祉新聞

No.62

令和6年4月1日から
合理的配慮の提供が義務化されました。



社会福祉法人 鹿児島市身体障害者福祉協会
理事長 財部 工

令和6年4月1日から、正当な理由なくして障がいを理由にサービスの提供を拒否したり、障がいを理由に障がいのない人と異なる条件を付けて不当な差別扱いをすることが禁止されました。

全ての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会の実現に向けて「合理的配慮の提供」が義務化されました。

つまり、私たちがお願いすることで、社会の中にあるバリアを取り除いてもらえたり、あたたかな支援の手を差し伸べてもらえたりして、障がいのある人と障がいのない人がお互いに助け合って、一緒に生きられる「共生社会」を実現しようとするものです。

私たち障がい者は、これらの法改正を障がい者の権利として押し付けるのではなく「ありがとう」の感謝の気持ちで建設的対話を重ねて社会的障壁を除去し、将来的にも障がい者が共生できる社会の実現に努めたいものだと考えます。

さて、当協会につきましては、皆様方のあたたかいご厚情を賜りお陰様で順調に運営できておりますことをご報告申し上げます。

新年度も引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、令和6年正月に発生した能登半島地震で犠牲になられた方々のご冥福と被災地の皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



目次

ごあいさつ（市身体障害者福祉協会理事長）…………… 1	ゆうあいの郷 アラカルト…………… 8～9
令和6年度運営方針及び事業計画…………… 2～3	障害者支援制度の紹介…………… 10
令和6年度行事計画書…………… 4	会員募集のおしらせ…………… 11
令和6年度収支予算書…………… 5	物故者ご芳名・事務局だより…………… 12
シリーズ『障がいを越えて』…………… 6～7	

社会福祉法人 鹿児島市身体障害者福祉協会

令和6年度 運営方針及び事業計画

1 はじめに

当協会の令和6年度当初予算を策定しました。

歳出総額は、過去最高の8,540万円で令和5年度当初比8.3% 653.2万円増。

歳出増の主な要因は、国の賃金アップ施策に合わせた人件費の増額で令和5年度当初比12.46% 610万円の増であります。

歳入は、障害福祉サービス等事業収入からのペナルティを完済したことによって令和5年度当初比16.75%増の9,593万円で3年連続最高を更新しました。

歳入増の主な要因は、新型コロナウイルス5類移行によって自販機事業収入、売店業収入が回復してきたほか、職員一丸となって取り組んできた障害福祉サービス等事業が、利用者の増加とともに令和5年度当初比18.29%の6,500万円と大幅に増加したためです。

今年は、ゆうあいの郷天保山作業所の開設10年目の記念日を迎えます。

天保山作業所を支えてきてくださった関係各位の皆様から心から感謝申し上げます。

さて、令和6年度も、皆様のご協力をいただきながら、一步一步確実に業務を推進し更なる飛躍を期すべく努めますので引き続きのご指導をお願い申し上げます。

2 重点目標

(1) 法人の施策

法人の安定的な運営を行うため、中期計画や組織及び体制を強化し、法人の運営体制、管理体制を確立する。

(ア) 法人の安定した経営構築を図るために将来像を見据えた計画策定

(イ) 法人運営に必要な規程・規則等の整理及び見直し。

(ウ) 会員募集

各支部の再編成と活性化

(2) ゆうあいの郷の施策

ゆうあいの郷の安定的な運営を行うため、障害福祉サービス等処遇改善に努める。

(ア) 看護師の配置

利用者の健康状態を把握し、早期発見、早期処置ができるように看護師を配置する。

(イ) 利用者工賃のアップ

生産活動を活性化し利用者の工賃アップに努める。

(ウ) 人材の育成と職場づくり

職員の資質向上を図り、働きやすい職場づくりと的確な支援を目指す。

a 研修計画による研修の充実と職員の資質向上

研修計画を策定し、内部研修や外部研修の機会を与え、職員の資質向上と、スキルアップに努め職務のステップアップを図る。

- b キャリアパスシステムと連動した処遇改善の確立
現行のキャリアパスシステムを精査し、そのシステムと連動した処遇改善を構築する。
- (3) 地域に愛され、地域に親しまれる法人を目指す。
 - (ア) 作品展や各種交流会の充実を図り、地域住民との交流の場を設ける。
 - (イ) 「クリーンシティかごしま」などの行事に積極的に参加し地域住民との交流を図る。

3 令和6年度の事業計画（別紙：令和6年度行事計画書のとおり）

- (1) 市受託事業・補助事業等の実施
 - ・ 鹿児島市身体障害者一日レクリエーション
 - ・ 鹿児島市身体障害者体育大会
 - ・ 第11回身体障害者福祉協会福祉大会
 - ・ 第17回身体障害者福祉協会作品展
- (2) 障害者福祉推進及び研修事業
 - ・ 九州身体障害者福祉大会（宮崎）
 - ・ 九州ブロック身体障害者相談員研修会（宮崎）
- (3) 社会参加促進事業
 - ① 県及び市障害者各種行事・イベントへの参加
（県障害者スポーツ大会、グランドゴルフ大会）
 - ② 市社会福祉協議会及びゆうあい館交流事業への参加
 - ・ 市わくわく福祉フェア
 - ・ ゆうあい館交流フェスタへの参加（模擬店、バザー出店）
- (4) 障害者福祉団体との連携
- (5) 賛助企業会との連携
- (6) 広報活動の推進
 - ・ 福祉新聞の発行（年3回）
 - ・ 市広報誌「市民のひろば」への掲載
- (7) 障害者相談の対応



鹿児島みらい農業協同組合 本店

〒892-0824 鹿児島市堀江町19番1号

TEL：099-224-1231 FAX：099-223-6249

URL <https://ja-kagosimamirai.or.jp/>



イメージキャラクター

「みいちゃん」

社会福祉法人 鹿児島市身体障害者福祉協会
 令和6年度 行事計画書
 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

月	日	行 事	会 場	備 考
令和6年 4月	20日(土)	松元支部総会	お茶の里	10時～
	21日(日)	東支部総会	ゆうあい館 大会議室	10時～
	22日(月)	監事研修会	中央公民館	14時～
5月	1日(水)	「福祉新聞」No.62号発行		1100部
	5日(日)	いしき支部総会	ハートピアかごしま	
	19日(日)	谷山支部総会及び交流会	ゆうあい館 大会議室	10時～
	19日(日)	喜入支部総会	マリンピア喜入	
	19日(日)	第18回 県障害者スポーツ大会(陸上競技・水泳・ホクリツほか)	白波/アム・ハート・リゾート	8時30分～
	19日(日)	吉田支部総会	吉田保健センター	10時～
	24日(金)	身障協監事監査	ゆうあい館内 小会議室	10時～
	26日(日)	第18回 県障害者スポーツ大会(ボッチャ)	ハートピアかごしま	8時30分～
	28日(火)	県身体障害者グランドゴルフ大会	ふれあいスポーツランド	9時30分～
	31日(金)	第1回 身障協理事会	ゆうあい館 大会議室	10時～
6月	2日(日)	南支部・中央支部総会及び交流会	ゆうあい館 大会議室	10時～
	8日(土)	鹿児島市身体障害者相談員協会監事監査	ゆうあい館内 事務局本部	
	9日(日)	鹿児島市身体障害者相談員協会役員会	ゆうあい館 大会議室	10時～
	15日(水)	第1回 身障協評議員会	ゆうあい館 大会議室	10時～
	22日(土)	鹿児島市身体障害者相談員協会総会	ゆうあい館 大会議室	10時～
	30日(日)	九州ふうせんバレーボール交歓大会IN鹿児島	西原商会アリーナ(鹿児島市)	9時～
7月	7日(日)	第1回 身障協運営委員会	ゆうあい館 大会議室	10時～
		令和5年度団体協議会監査	ゆうあい館 大会議室	
		令和6年度団体協議会役員会	ゆうあい館 大会議室	
8月	22日(木)	市身体障害者協会役員と市民児協障害者福祉部会役員との打合せ会	市民福祉プラザ5階	13時30分～
9月	1日(日)	「福祉新聞」No.63号発行		1100部
	17日(火)	市身体障害者協会相談員と市民児協障害者福祉部会代表者との合同研修会	市民福祉プラザ5階 中会議室	13時30分～
		松元支部交流会		
10月	20日(日)	第11回身体障害者福祉協会功労者表彰式 第17回鹿児島市障害者作品展	ゆうあい館 体育館	10時～
	26日(土)～ 28日(月)	第23回全国障害者スポーツ大会	佐賀県	
		第1回 身障協臨時理事会	ゆうあい館 大会議室	10時～
		いしき支部交流会		
11月	9日(土)	第58回 団体協議会体育大会(肢体・聴覚・視覚)	ゆうあい館 体育館	※合同開催検討
		第38回九州身体障害者ゲートボール大会		
		1日レクリエーション		
		わくわく交流フェア	かんまちあ(上町ふれあい広場)	
12月	14日(土)	第35回 鹿児島県身体障害者協会連合会文化祭	ハートピアかごしま	
	28日(土)	仕事納め		
令和7年 1月	1日(水)	「福祉新聞」No.64発行		1100部
	4日(土)	仕事始め 新年会		
	27日(月)～ 28日(火)	第53回 九州身体障害者福祉大会 第31回 九州ブロック身体障害者相談員研修会(宮崎大会)	宮崎市民文化ホール (宮崎市)	
2月				
3月		ゆうあい館交流フェスタ	ゆうあい館	
		第2回 身障協理事会	ゆうあい館 大会議室	
		第2回 身障協評議員会	ゆうあい館 大会議室	
		身障協評議員選任・解任委員会	ゆうあい館 大会議室	
		谷山支部連絡員会		
		いしき支部交流会		

収 支 予 算 書

令和 6 年度

P- 1

法 人 名：社会福祉法人鹿児島市身体障害者福祉協会

(単位：円)

勘 定 科 目		当年度予算	前年度予算	差 異	備 考
事業活動による収入	就労支援事業収入	11,488,000	10,490,000	998,000	
	障害福祉サービス等事業収入	65,000,000	54,950,000	10,050,000	
	自販機事業収入	10,606,000	9,900,000	706,000	
	会費等収入	1,768,000	2,380,000	-612,000	
	受取利息配当金収入	213	200	13	
	売店事業収入	1,327,000	1,100,000	227,000	
	その他の収入	5,744,800	3,350,000	2,394,800	
	事業活動収入計①	95,934,013	82,170,200	13,763,813	
事業活動による支出	人件費支出	55,069,667	48,969,000	6,100,667	
	事業費支出	12,110,400	11,677,760	432,640	
	事務費支出	5,471,000	5,825,500	-354,500	
	就労支援事業支出	10,972,490	10,490,000	482,490	
	自販機事業支出	0	10,000	-10,000	
	売店事業支出	300,000	300,000	0	
	支払利息支出	215,800	220,000	-4,200	
	その他の支出	1,268,500	1,383,000	-114,500	
事業活動支出計②	85,407,857	78,875,260	6,532,597		
事業活動資金収支差額③=①-②	10,526,156	3,294,940	7,231,216		
施設整備等による収入	施設整備等収入計④	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還金支出	1,597,000	1,600,000	-3,000	
	施設整備等支出計⑤	1,597,000	1,600,000	-3,000	
	施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-1,597,000	-1,600,000	3,000	
その他の活動による収入	その他の活動収入計⑦	0	0	0	
	長期運営資金借入金元金償還支出	7,000,000	2,000,000	5,000,000	
	その他の活動支出計⑧	7,000,000	2,000,000	5,000,000	
	その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-7,000,000	-2,000,000	-5,000,000	
予備費支出⑩	0	0	0		
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	1,929,156	-305,060	2,234,216		
前期末支払資金残高⑫	21,029,711	1,417,273	19,612,438		
当期末支払資金残高⑬+⑫	22,958,867	1,112,213	21,846,654		

シリーズ『障がいを超えて』

②5 谷山支部 小山 義方

障がい者の仲間が集まれば、百人百様、それぞれが宿命的な障がいに立ち向い人生をたくましく生きています。障がいを超えた方や、いまだ奮闘中の友もその想いを文章に託して伝えてみませんか。それは私達障がい者にとって、おおいなる人生のゴールになるにちがいありません。

劣位から見えたもの

私は、鹿児島市内に住んでいる生まれつきの全盲者です。当然その現実がいちばんショックを感じていたのは両親だったわけですが、両親は私を近所の同世代の子供たちと遊ばせようと外に連れ出したり、社会の空気を吸わせようとあちらこちらと連れて行ってくれました。一方、私は自分の目が見えないことを特別意識していたわけではなかったのですが、なかなか他人に溶け込もうとはせず、自分と他人との間にバリアを築き、そこを越えようとはしませんでした。

それでも両親はあきらめず、私を一般の幼稚園へ通わせようと市内の幼稚園をあちこち回りました。ほとんどの園が「全盲の子供を受け入れた前例がない」と断った中、1カ所だけ快く受け入れてくださり、そこで就学前の1年を過ごしました。

その幼稚園では、担任の先生が私をけっして特別扱いせず、他の子供たちと同じように扱ってくださいました。給食当番も普通にさせてもらいましたし、運動会でも走る距離を短くするなどの工夫をした上で、他の園児と同じように参加させてくださいました。全盲児を初めて受け入れた幼稚園とは思えない対応に、両親は感動したとのことでした。

ところが、私の方はいいますと、周りの大人たちの期待や希望とは裏腹に、相変わらず人と交わることを避け、教室の隅で一人遊んでいました。そのような私に対し、先生はなんとか私に協調性を身に付けさせようと考えてくださいました。私には兄弟がいないため、幼稚園に入るまで周りほとんど自分より年上の大人の世界で過ごしました。その大人たちや両親から童話や童謡、そして昭和初期の歌謡曲などを聴かされて育った私は、昔のお話や歌をほとんど覚えて、空で語ったり歌ったりしていました。ある時、ある童話を一人でぶつぶつ話していた私を見つけた幼稚園の先生は「そのお話しを子供たちに話してあげてよ」と園の子供たちを集めて「お話し会」と称し、私に童話を話させました。童謡を歌わせたりもしました。それが受けたのかどうか分かりませんが、同じ年長の子供たちをはじめ年少組の子供たちからもお話しをせがまれるようになり「お話しおじさん」みたいな存在になりました。そしてそのことが、少しずつではありますが私に協調性を養わせた大きな一因となったと思います。今から考えれば教育の力の偉大さを感じます。

ところで、もう一つ幼少期の私に両親が与えてくれたのが楽器でした。「この子はこれから一生視覚障がい者としての人生を歩むことになるのでせめて心の慰みに」と、6歳の時にバイオリンを持たせてくれたのです。そして、それから10年間専門の先生についてバイオリンを勉強しました。それをきっかけに、音楽に対する関心が一挙に高まり、他の楽器にも興味を持ち、親戚の家にピアノがあると

